



SUPPORTING
CHINA
BUSINESS

LT Commerce Consultants (Shanghai) Co., Ltd.

2010 年 7 月 5 日

「LT 会」会報第 10-12 号（総 70 号）

国内企業の輸出代金回収用オフショア口座開設認可の動き

上海良図商務諮詢有限公司

2010 年 3 月末現在中国の外貨準備高は世界一となり、2 兆 4 4 7 1 億米ドルに上る、第 2 位は日本の 1 兆 0 4 2 7 億米ドル、第 3 位は EU でわずか、5 5 6 9 億米ドルであった。本来外貨準備高は輸入代金や外貨借入金返済など対外支払いに使われるため、国に対する評価の物差しの一つとなっている。（もちろん外貨準備高の大きさが対外資産高の大きさを表しているわけではないが）中国は外貨準備高の異常な多さで、運用にかなり困っているようである。

2007 年 9 月には約 2,000 億ドルを運用する国家投資ファンドの業務を開始させたが

2008 年 9 月リーマンショックとサブプライムローンの問題で損失を出し、米国債に対する信用が揺らぎ始めた、もちろん米ドル準備高をもつことは米国に対する政治的・外交的カードとして非常に有用なものではあるが 中国政府は外貨準備高の 7 割を運用していた米国債からユーロ資産へシフトし始めた。

ところが 2009 年 10 月以降、ギリシャの財政不均衡と格下げによるユーロの下落問題で、中国の外貨運用は再び米ドルに戻り始めている。

今年第一 4 半期の中国の外貨準備高について、為替変動と資産価値の変動で 480 億米ドル目減りしたことが明らかになった。中国では通貨別の外貨運用は公表していないので、どの通貨で資産が目減りしたかの正確にはわからないが、第一 4 半期の外貨準備資産の目減りはユーロの下落によるものではないかと推測される。

一方中国国内企業と個人は人民元高を見込んで、外貨資産を売って人民元資産を増やしており、中国政府はそれ以上の外貨資産流入の規制ができなくなった結果、新しく国内企業の外貨口座オフショア化を議論し始めた。

この国内企業の外貨口座オフショア化の基本的な構想は国内企業が海外の銀行で口座を開設することを認め、この口座を合法的な輸出代金回収に利用できるようにするものである。更にこの口座の預金は、輸入代金決済にも使用できる。この措置により外貨を中国国内市場に流入しないようにできるため、外貨準備高増加の抑止効果を期待できる。

このオフショア口座の管理方法として、企業は自己報告し、当局は非現場管理監督を行う予定といわれている。

以 上